



令和6年度 地域の気候変動適応推進に向けた意見交換会
令和6年12月18日（水）

「地域気候変動適応センター業務ガイドブックについて」

国立環境研究所 気候変動適応センター
浅野絵美



本日の内容

1. LCCAC発展と感じていた課題
2. ガイドブック作成までの経緯
3. 皆さまからのご意見で整理できたポイント
4. 今後検討が必要なコメント
5. 更なるLCCAC発展に向けて

以下「地域気候変動適応センター（Local Climate Change Adaptation Center）」をLCCACとします

1.LCCAC発展と感じていた課題

- H30年12月以降、各地でLCCACが設置される
- 地域によって異なる気候変動影響に対し、各LCCACの強み・人脈を活かした取組や創意工夫等により、多くの好事例が生まれている
- 科学的知見の提供、情報の一元化、関係者のマネジメントなど、LCCACが更に発展する多くの可能性がある

<意見交換会の歴史>

2018年



2020年



2022年



2019年

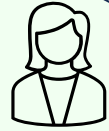


2021年



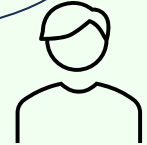


1.LCCAC発展と感じていた課題（続き）

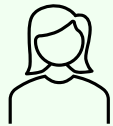


LCCACとして何を目標したらよいか

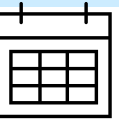
各LCCACの取組みが、A-PLATに一元化されているとよい



LCCACご担当者の異動による引継ぎ



これらのご意見に何らかの形で応えたい

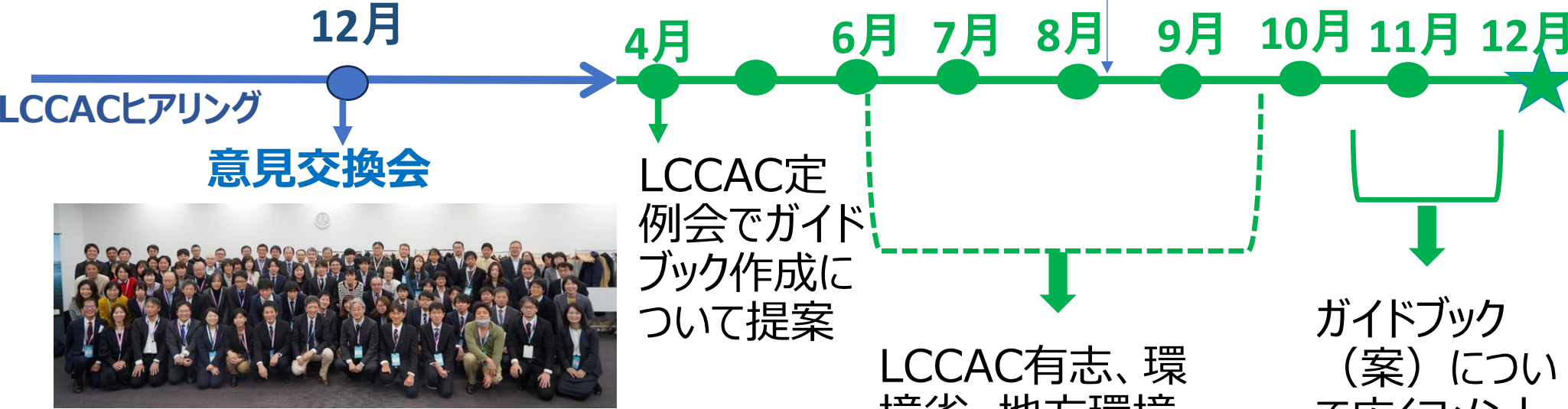


2.ガイドブック作成までの経緯

2023年度

2024年度

気候変動影響評価・適応
小委員会 中間取りまとめ



- 午後「今後目指す方向性は何か?」「そのためのLCCACの中長期(5-10年)的なありかたとは?」についてディスカッション
- 相談窓口、情報基盤、総合マネジメント、関係機関連携、分析など様々なご意見を頂いた

LCCAC有志、環境省、地方環境事務所の方々と構成・内容について計4回ディスカッション + LCCAC定例会で報告

ガイドブック(案)について広くコメントいただく

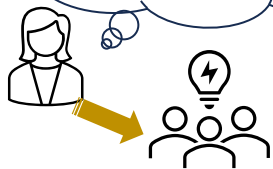


3. 皆さまからのご意見で整理できたポイント



第1章で気候変動影響評価・適応小委員会「気候変動適応法施行後5年の施行状況に関する検討中間取りまとめ」や「法制度上の位置づけ」を確認

LCCACとして何を
目指したらよいか



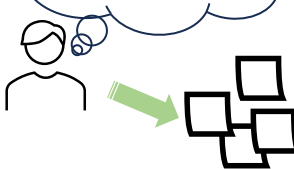
ディスカッション
で議論

第2章 基本的考え方

「LCCACの中長期的なあり方の方向性」

「LCCACに期待される機能の考え方」 を整理

各LCCACの取
組みの一元化



皆さまからの
取組み情報

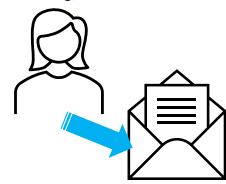
第3章 業務例

⇒機能別に実際の業務を記載

各都道府県必ず
一つは掲載できる
ように、内容等バ
ランスを見て調整



異動による引継ぎ



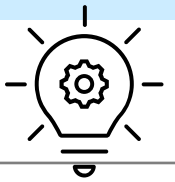
複数の方が個
別意見を寄せ
て下さった

「別冊資料 導入編」の作成

⇒各機能の業務を行う場合のファーストステップを記載



「新任者向け」
ポイントも記載




4. 今後検討が必要なコメント

<ガイドブック（案）にいただいたご意見>

■ 優先順位

■ ステークホルダー連携までのフロー

■ 業務例のポイント、苦勞した点、今後の課題、効果等

 ディスカッション（午後）のワークシートに記載いただいたご意見は、意見交換会での議論も踏まえて今後の改善に活かす予定です



5.更なるLCCAC発展に向けて

個人的なキーワード：実践への寄与を見据えてスモールステップ、好事例の横展開

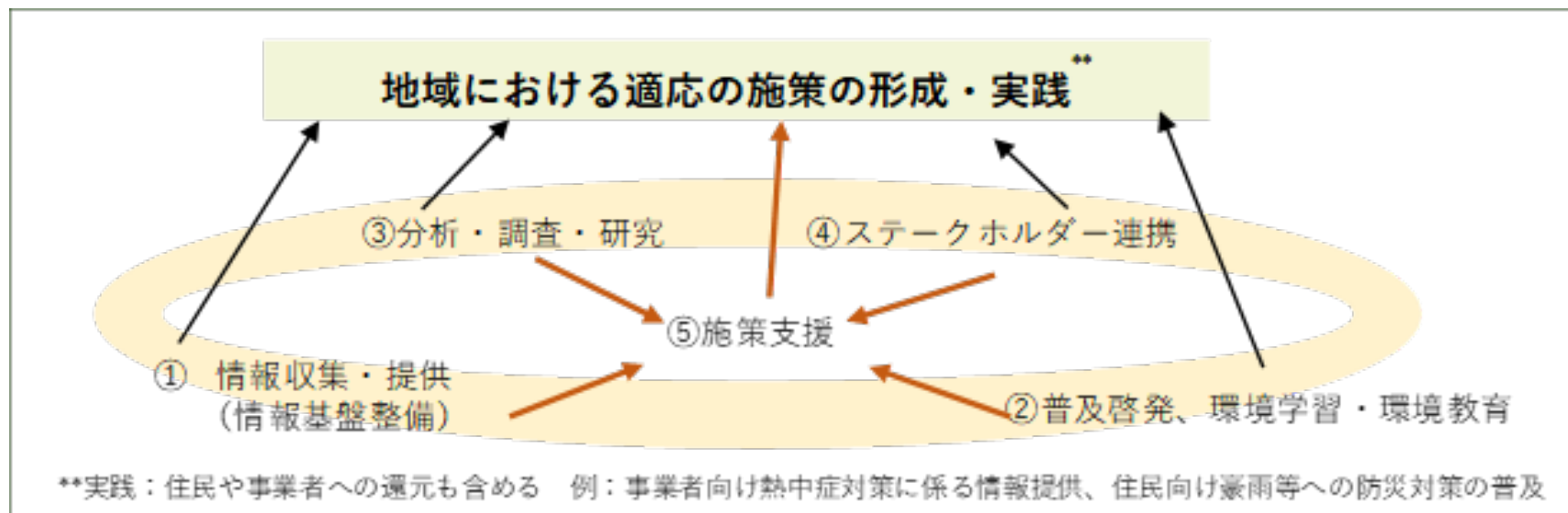


図 地域適応センターの各機能と施策支援・形成・実践の関係図

出典：地域気候変動適応センター業務ガイドブック（案）